※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　芸　術　　科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ【演劇科】	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書	Tutti　音楽Ⅰ改訂版（教育出版）						
副教材等	コンコーネ50番（中声用）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には、舞台に立つものとしての自覚を持って参加してください。
・声楽のテクニックをしっかり学ぶ心づもりをして、授業に臨んでください。
・テクニックも大事ですが、歌唱はイメージに裏打ちされていることが絶対の条件です。そのことを自覚しましょう。
・学んだこと、授業を受けて気づいたことなどは、その日のうちにメモしておくように心がけましょう。
・積極的に、なおかつ楽しく取り組むことが一番です。それが、あなたの能力を伸ばしてくれます。

2　学習の到達目標

(1)曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり、および、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができる。
(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な表現形態における歌唱表現の特徴について理解している。 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、表現意図をもって表現しているか。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞、の学習に主体的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	○○歌唱の基本 発声の基本	・基本姿勢、身体の開放 ・音程、音の長さ、リズム ・腹式呼吸 ・口の開き方、表情筋 ・アエイ開口母音 ・アオウ閉口母音	a:発声法や腹式呼吸を身につけ、それを表現に生かそうとしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:発声や腹式呼吸に興味を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	器楽	・楽典(音符・休符・調・和音など) ・鍵盤楽器(キーボード)の奏法	a:楽典を理解するとともに、キーボードの奏法を身につけているか。 b:曲調を理解し、イメージを持って演奏することができているか。 c:キーボードの奏法を身につけて、それを生かして演奏することに関心を持って主体的に取り組んでいるか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	歌唱	・日本の歌曲を歌う。 ・日本語の抑揚や間、語感 ・歌詞と、旋律や曲想との関係	a:曲想と歌詞との関わりについて理解しているか。曲にふさわしい発声や発音の技能を身につけているか。 b:曲調を理解し、イメージを持って歌うすることができているか。 c:日本語の抑揚や間、語感と曲想との関係に関心を持って、主体的に学ぼうとしているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
2	ミュージカルの鑑賞	・ミュージカルの特徴 ・作品の文化的・歴史的背景	a:ミュージカルの特徴や、作品の背景を踏まえて鑑賞することができているか。 b:鑑賞を自らの表現へと関連づけて考えることができているか。 c:作品の特徴や背景に関心を持って主体的に鑑賞できているか。	小テスト	リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	身体と声のコントロール	・ブレスコントロール ・英語の発音とメロディーの関係性 ・支えの意識(身体を使って楽曲を歌う)	a:発声法や腹式呼吸などの技能を身につけ、それを自己の表現に生かしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って主体的に歌えているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	器楽鑑賞	・和楽器の表現活動を通して日本の楽器の奏法を学ぶ。 ・諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して、音楽文化の固有性、共通性を考える。	a:曲にふさわしい奏法を身につけているか。日本の音楽の種類と特徴について理解しているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:日本の楽器の奏法を学ぶことや、日本の音楽の特徴を考えることに関心を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	実技テスト 小テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
3	共鳴と滑舌	・ハミング(共鳴腔) ・滑舌(子音について) ・滑舌(子音と母音)	a:滑舌・共鳴などの技能を理解し、それを自己の表現に生かしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って主体的に歌えているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	公演に向けて	・ミュージカルの歌唱 ・ハーモニー(調和) ・声部の役割 ・曲想の理解	a:ミュージカルの特徴・声部の役割を理解し、表現に生かしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って主体的に歌えているか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　　a：知識・技能　　b：思考・判断・表現　　c：主体的に学習に取り組む態度